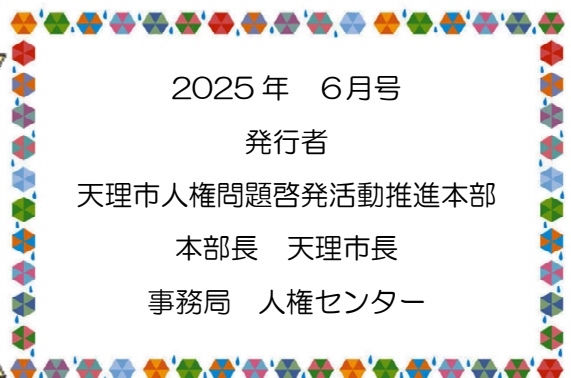




2025 年 6月号

発行者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

事務局 人権センター

性の多様性について

ここ数年、性の多様性に関する話題が増えています。皆さんは、LGBTQという言葉をご存じですか。表に簡単にまとめてみました。

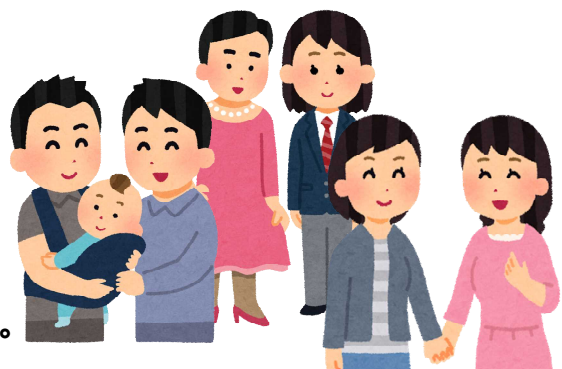
L	Lesbian レズビアン	恋愛や性の関心が同性に向かう女性
G	Gay ゲイ	恋愛や性の関心が同性に向かう男性
B	Bisexual バイセクシャル	恋愛や性の関心が男性・女性に向かう人
T	Transgender トランスジェンダー	自身が認識している性別と、出生時に割り当てられた法律上の性別が一致しない人
Q	Questioning クエスチョニング	自分の性のあり方が、自分でもよく分からず迷っている人や、特に決めたくない人

しかし、性のあり方はくっきりと分かれているものではなく、グラデーションのように多種多様なものです。その中で私たちが考えなくてはいけないのは、多様な性が存在するにも関わらず、偏見や差別により苦しんでいる人がいるということです。

苦しんだり、悩んだりするのは、自らのことを告白することがなかなかできないという環境のせいかもしれません。そのためにも、悩みを抱えている方が身近にいるのであれば、まずはゆっくり話を聞きましょう。そして、決してその思いを否定しないことです。それが多様な性を認め合う第一歩となります。

天理市では、「天理市性の多様性の尊重に関する条例」を昨年4月1日に施行しました。

まずはひとりひとりが多様な性が存在することを理解し、誰しもが「自分らしく」生きていくことができる社会を目指しましょう。



災害に起因する人権侵害

1995(平成7)年1月17日に阪神淡路大震災が発生してから30年が経ちました。

その後も地震や豪雨、数か月前の山林火災など多くの災害が生じています。いずれも規模が大きく、人々への影響も甚大なものになっているように思います。

災害時に懸念されることのひとつに、プライバシーの侵害や風評被害による差別、不確かな情報の拡散やインターネット上の人権侵害など人権問題が発生するリスクが高くなるということです。

また、災害時において障がいを抱えている方、高齢の方、妊婦や乳幼児の方、あるいは外国の方は影響を受けやすいと考えられます。例えば、日本語が分からず、必要な食事や薬が被災者になかなか届かなかったり、文化や宗教上の理由で食事の中身がわからず、口にできないといったことがあります。

災害などが生じた時に、まずご自身の身を守るのは最も大切ではありますが、障がいを抱えている方、高齢の方、妊婦や乳幼児の方、あるいは外国の方も同じく困っておられるということも心に留め、お互いに支え合い、助け合う気持ちで声を掛け合い、行動することが大切なのではないのでしょうか。

てんいち先生

